

「手話サポーター養成事業」 関連講義の案内

手話を習得し
将来の専門職に
活かしたい

聞こえない子どもに
手話で授業ができるために教師に
必要な「伝える力」を磨きたい！

ろう重複者や
盲ろう者の支援に
興味がある

・・・という人なら誰でも**受講可能**です！

○本事業のプログラムを通じて、1年次の日本手話の基礎を習得し、2～3年次では、手話通訳の資格取得も可能な通訳演習学習により日本手話のスキルを高めます。その上で4年次に、ろう重複児・者(聴覚障害と他の障害を併せ有する児・者)を含め、手話を用いたコミュニケーション支援/学習指導におけるスキル習得を目指します。

開講講義

関連講義



【注】※の講義は卒業単位となりますが、教員免許の単位には含まれません。

ろう重複児・者への支援について学びたい場合

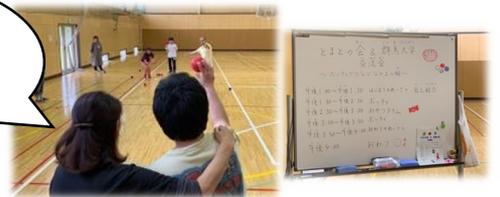
聴覚障害と他の障害(知的障害、視覚障害など)を併せ有する児・者(ろう重複児・者)への支援を学ぶための課外活動があります。

- ①ろう重複児・者と交流する企画の運営・参加
- ②盲ろう者(聴覚障害と視覚障害を併せ有する人たち)の団体である「群馬盲ろう者つるの会」のイベント参加によるボランティア活動

「群馬盲ろう者つるの会」イベントボランティア活動(3回以上参加)をすることで、4年生にて盲ろう者向け通訳・介助員の資格取得などの講義を受講後に群馬県の盲ろう者向け通訳・介助員の資格が取得できます。

ろう重複者との交流企画

ろう重複者が集まる居場所づくりなどの実践を通してろう重複児・者への支援技術を学びます。



写真引用: <https://sites.google.com/a/gunma-u.ac.jp/kanazawalab/tomato>

(コロナ禍のため、ろう重複児・者と交流する企画運営・参加や「群馬盲ろう者つるの会」ボランティア活動等が難しい場合もあります)

